



金沢 力
(公明党)

**駅東口地区整備
LRT整備との
連携を**

問 宇都宮駅東口地区は、県都宇都宮の玄関口やLRTの起点であり、県内外から多くの人が訪れる重要な地区であるため、多様で魅力的な拠点を形成することが重要である。

① 事業者募集では、どのような提案があったか。

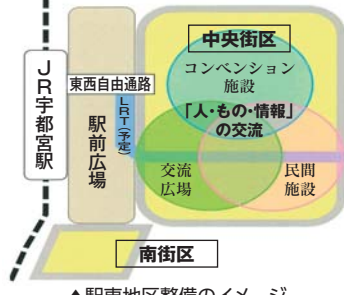
② LRT整備との整合を図りながら事業を進めていくことが望ましいと考えるが、今後のスケジュールは。

答 ① 中央街区には、コンベンション施設や交流広場、商業施設やホテル、医療、南街区には、マンションなどの提案をいただくとともに、自然エネルギーの活用など、新たな拠点

にふさわしい提案をいただいた。

② 宇都宮駅東口地区整備事業者選定委員会で審査し、優先交渉権者を決定した後、9月を目前に事業契約を締結し、30年度末には基本設計に着手していく。

LRT整備と整合を図ることは、さらなる事業効果が期待できるため、事業の連携を一層図りながら、優先交渉権者とともに取り組んでいく。



▲駅東地区整備のイメージ

その他の質問項目

① 市長の政治姿勢(LRT事業、若者の地元企業への就職促進ほか) ② 福祉行政(要支援児童への支援、認知症対策ほか) ③ 安全・安心のまちづくり(山下川の溢水軽減対策ほか) ④ 教育行政(子どもの家等事業、学校におけるがん教育の推進)



五月女 伸夫
(自民党)

**市民の自発的な
協働意欲の向上策は**

問 本格的な少子高齢化社会が到来し、市民ニーズの多様化など、市を取り巻く状況が大きく変化していく。

30年度を初年度とする第3次市民協働推進計画が策定され、今後、行政だけでは担うことができない公共サービスの拡大に繋がるものと期待している。

計画では普及啓発事業の実施、まちづくり活動応援事業(情報収集と発信)を重点事業に掲げているがその推進方法は

答 市民協働意識の浸透を図るため、幅広い年代にまちづくり活動への参加促進に係る出前講座などを継続的に実施してきた。

今後は、特に若者を対象としたまちづくり関連講座の充実や、SNS^{※4}を活用したボランティアや寄付の募集情報の収集・発信を強化していく。

まちづくり活動応援事業は、活動団体などがインターネットで新たな参加者を募り、情報を得た市民が気軽に活動に参加できる仕組みで、31年度中の本格実施に向けた制度構築を進めている。

今後は、31年2月予定の試行運用で十分な検証を行い、本格実施にあたっては、積極的な事業PRと参加の促進に取り組んでいく。



その他の質問項目

① 魅力ある観光と交流 ② LRTにおけるトータルデザインの取り組み ③ JR岡本駅周辺の整備と今後のまちづくり ④ 新たな廃棄物処理施設の整備 ⑤ 健康寿命の延伸に向けた介護予防の取り組み ⑥ 学校教育の成果と今後の取り組み



中塚 英範
(市民連合)

LGBT^{※5}への取り組みと理解促進を

問 LGBTの調査結果から、実態や様々な課題が明らかになる中で、LGBTの人々が安心して暮らせる環境作りが必要である。

① LGBTの中学生に苦痛を与えない制服を導入すべきではないか。また、LGBTに配慮された水着の着用を認めるべきではないか。

② LGBTへの理解促進や当事者の不利益解消と幸福のために、同性パートナーシップ制度を導入すべきではないか。

答 ① LGBTの生徒に配慮した環境づくりが求められていることから、今後、校長会と連携しながら、性別に関係なく制

服を選べるデザインの導入など制服の在り方について研究していく。

また、現在も全ての学校において、児童生徒や保護者からの申し出があれば、上半身を覆う水着の着用を認めており、今後ともきめ細かな対応に努めていく。

② LGBTの人が、生活の場において直面する様々な困難を解消するためには、まずは、市民の理解が重要であることから、市民に対する周知啓発に努め、社会全体が性の多様性を受け入れる環境づくりを進めるとともに、国や県、他自治体の動向を注視していく。



その他の質問項目

① 市長の政治姿勢(ハラスメント対策ほか) ② こどもの貧困対策 ③ 障がい者の雇用を支える就労継続支援A型事業所の適正運営に向けた取り組み ④ 第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)における市のデモンストラーションスポーツ